

発行 関西防衛を支える会
大阪府中央区谷町2丁目7番6-605
〒540-0012
TEL.06-6947-0831
発行人 高橋季義
編集人 新川貞敏
印刷所 真生印刷(株)

國の支え

(題字 中井信夫)

「一燈を掲げて暗夜を行く、
暗夜を憂うこと勿れ、
只、一燈を頼め」

佐藤一齊 『言志四録』



「年頭のご挨拶」
会長 高橋 季義

新年あけましておめでとう。
会員並びに自衛官の皆様には、ますますご健勝にて新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。



祝辞
陸上自衛隊
中部方面総監
陸将 中谷正寛

関西防衛を支える会の皆様、明けましておめでとうございます。

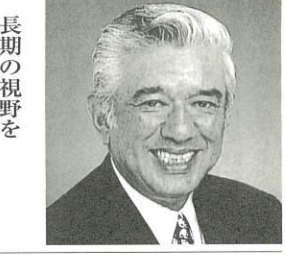


祝辞
海上自衛隊
呉地方総監
海将 仲摩 徹彌

新年おめでとう御座居ます。ともに、関西防衛を支える会の設立一周年を心からお祝い申し上げます。

たばかりにマスコミから揚げ足をとられた上、野党の好餌にされ次官辞任に至った事は誠に残念でした。さて、本年は、西暦二千年、二十世紀最後の年であり、世間ではミレニアムと言われ、色々な意味において節目にあたるわけであり、振り返りますと、我が国は、国民ひとりひとりの英知と努力によってありの大東亜戦争後の虚無から不死鳥のごとく立ち上がり、経済大国へと発展をとげました。ただ、この背景には、日米安全保障条約のお陰で外国からの武力による侵略を受けることなく、国の「安全」が保たれてきたという事実を忘れてはなりません。

ソ連の解体によって米ソ冷戦構造こそ消滅し、たが、宗教上の対立や民族問題に根ざす地域紛争が多発するなど依然として国際情勢は不透明・不確実な要素を内包しております。同時に二国間対話の拡大や地域的安全保障体制への取り組み等地域の安全を図ろうとする様々な動きが見られますが、日本としては、日米安全保障体制を有効に機能させていくのが最善の道と確信致します。また、世界の平和のため、我が国の果たすべき役割は、従来通りの資金の提供だけでなく、応分の人的寄与を求めらることは国際常識上当然のことであり、そのためには、一日も早く憲法改正に取り組み「防衛庁」を



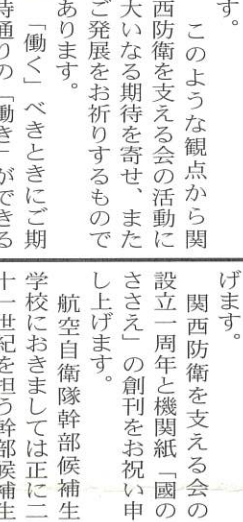
長期の視野を
建設大臣 国土庁長官
中山 正暉

「関西『防衛』を支える会」一周年を吉所に、機関紙発行の運びの由を承り御同慶の至ります。「軍事を語るに政治は、楽器のな音楽だ」[Politics without instrument is music without instrument] と言語が、努力を割り出す方式で外国の人が作りました。



祝、設立一周年及び
機関紙創刊
航空自衛隊
幹部候補生学校長
空将補 吉田 松徳

御案内のとおり、これまでの「作る自衛隊」から「働く自衛隊」へ大きな転換点にある自衛隊にとりましては、国民の深い国防への理解に加えて、一朝事ある時、政府の迅速な意思決定と、的確な命令、更には国を挙げての支持の表明にかかわるメカニズムの整備が焦眉の課題と考えています。



祝、設立一周年及び
機関紙創刊
航空自衛隊
幹部候補生
学校におきましては正に二十一世紀を担う幹部候補生若鷺達の育成に、引き続き本年も尽力する所存であり、内外情勢、依然として厳しい中、本年も変わらぬご厚誼とご支援をお願い申し上げますと共に、貴会の益々の隆盛を祈念致します。



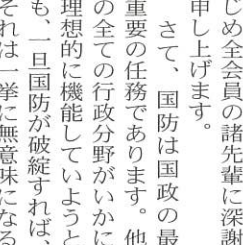
このような観点から関西防衛を支える会の活動に大いなる期待を寄せ、またご発展をお祈りするものであります。「働く」べきときに「期待通りの「働き」ができる部隊作り」に大いに精進することをお約束しお祝いとさせていただきます。

裁判に満州計画の責任者として自分を裁くべしと執拗に抗議し、遂に彼が病氣療養中の山形へ客車五列車を仕立て、東京裁判が移動して行きます。彼は祖国の無かったユダヤ人に「ふく計画」と称して世界中のユダヤ人の資本を満州へ導くつもりだった様です。新しい最終戦争理論が中国によって米国を対象に実行されたら大変です。ユダヤ人問題は存在しません。もう祖国イスラエルがあります。東南アジアや中央アジアのイスラムを抱えた中国が米国の対立しないこと、日本がその両者の対立を防ぐ方策を考へること、長期の日本が建てる政策の基礎はその辺に有ると思っております。



政治的要請
衆議院議員
西村 眞悟

このたび、関西防衛を支える会の末席にお加えいただきまして、高橋会長はじめ全会員の諸先輩に深く感謝申し上げます。



政治的要請
衆議院議員
西村 眞悟

さて、この我々の志の障害とは如何なるものでありましょうか。この度の平成十一年十一月の、私の防衛政務次官辞任に至る経緯は、期せずしてその正体を明らかにするための威力偵察となりまして、

太陽工業株式会社
TSP太陽株式会社
代表取締役
能村 龍太郎
〒532-0012 大阪府淀川区木川東4-8-4
電話(06)63063004
〒153-0043 東京都目黒区東山3-2-2-1
電話(03)37143301
FAX大阪(06)630611066
FAX東京(03)37143381

信太山自衛隊協力会
会長
中井 信夫
所在地：大阪府和泉市伯太町官有地
信太山自衛隊広報班気付
電話：0725(43)0265

(社)日本郷友連盟
大阪府支部(大阪郷友会)
会長
兼理事長
芝田 武治
〒665-0855 宝塚市山本台2-1-1-7
電話(0797)8813650
事務所
〒583-0024 藤井寺市藤井寺3-1-1-26
電話(0729)5413960

ビル総合管理
株式会社
ダイトウ
代表取締役
山下 照夫
本社：〒530-0077 大阪府北区堂山町1-1-5
大阪合同ビル
TEL06(63313)0631
FAX06(63362)6930
ビルについてのご相談はお気軽にお申し付け下さい。

関西防衛を支える会
監督
梶川 勝平
〒588-8126 堺市大野野八六番地六
電話072(21)377 六〇九三番









「強姦」について  
大阪府立大学  
教授 堀江 珠喜

「オマエを強姦した。強姦して懲役三年くらいやったら、かまへん」  
五カ月前から、私はこのようなストーリーカー電話に悩まされている。相手は身元を明らかにしないし、声にも心当たりがない。以前から時折嫌がらせを仕掛けてくる某氏が第三者を使っているのかとも思うが、証拠はない。  
とにかく、こんな電話の直後はマンションのエレベーターに乗るのも、宅配便を受け取るのも、大学の研究室に独りであるのも恐



国防について思う  
副会長 坂本 太郎

大阪防衛を支える会から再生を誓った関西防衛を支える会に改称し、関西一円に輪を広げた活動を展開し草の根運動をスローガンとしてスタートした。  
云うまでもなく国防の衛について大いに議論し、防衛の方向性を夫々の関係機関にアピールして国防の認識を広く深めるために努力することであろうかと思



会長代行 中井 信夫

新年おめでとうございませ、併せて機関紙の発刊をよろこぶ次第です。  
此の地球上に國家と云

い。(西村氏の強姦発言に憤慨なさる方々の中に、こんな恐怖の経験者は、果たしてどのくらいいらっしゃるのだろうか?)  
とりあえず自己防衛のために携帯用プザーを買い、110番通報用PHSを手に出しているのだが、ふと、高校時代を思い出し、スケバンではないが、私は護身用にオモチャのよな小さなナイフを持ち歩いてきたのだ。どう用いて人を殺せるようなシロモノではなく、まして少女の力ではせいぜい足を踏むほどの痛みしか与えられなかつただろう。だが母校の神戸女学院の谷門付近は雑木林が続いて昼間でも薄暗く無気味であった。そこで、もしものときに一瞬相手がひるむくらいの掠り傷を負わせて、その隙に逃げようと考えたのである。  
幸いそれを使う機会もなく、そのナイフもなくしてしまつたが、非武装中立

が美德のように唱えられた時代でも、誰にも教えられずとも、少女なりに自衛武装を心がけたのだ。  
それにしてもカチカチの「レイプ」に比べ、「強姦」なる漢字はなんて生々しいのだろう。確かに人間の歴史を振り返れば、多くの戦争は「レイプ」も同然なのだが、(表面的には)優しい時代の今日、強い刺激への拒否反応、いわばアレルギーが「強姦」という言葉に對して生じたのではないだろうか。  
しかし、それならばなぜ、八十五年の文化庁長官・三浦朱門発言は、さほど問題にされなかつたのか。国防とは次元を異にするが、彼はこう書いたのである。「女性を強姦するのは、紳士として恥ずべきことだが、女性を強姦する体力がないのは、男として恥ずべきことである」。さらに「男はどのような美女の前に出て、何、いざとなれば、この女だつておれの物にできるのだがそうはしないだけだと確信できれば、彼女の前で堂々として、かつ紳士的になれるのである」。  
先日、例のストーリーカー電話の件でA新聞社の女性記者に会つた折、この三浦発言に触れたところ、「西村氏より、よほどひどい!」と、私に共鳴してくれた。しかも当時、三浦氏を謝罪・訂正もせず、長官をも辞任してないし、「文化人」は彼に味方した。石原慎太郎氏は、ユーモアのわからない女性が悪いという旨の発言をし、佐藤愛子氏も「他人の言うことを許してあげる度量が女にも欲しいですね」と言つたのである。  
まだ「セクハラ」なる言葉がなかつた時代とはいへ、わずか十五年前である。被強姦体験を持つ女性は、彼の意見にどれほど傷ついていたことか。あのとき、きち

ふものが出来て居らなかつた時代、即ち人間が始めてこの地球上に生れられて数千年間は生きる為には食糧を採すのと同時に食べ物の奪ひ合い、住居や農産物の生産の為の土地の争奪を明け暮れたものと想像されますが、其の後同種の民族の結合と宗教の力により団結の中に色々な規則をつくり國家形成に到達したものと思われま



事務局長 前田 稔

「憂」  
明けましておめでとうございませ。



副会長 勢田 信行

新年明けましておめでとうございませ。

「支える会」は防衛庁、自衛隊をバックアップし國民の防衛意識の高揚・自衛官の地位向上に務め積極的支援する目的にて地域住民と自衛隊との架け橋となり会の発展・会勢の拡大は

常任理事 保口 廣幸  
二千年を迎え、国防会にとつても大躍進の年にしたいものである。国防問題に関するタブーの枠はずれつつ有るとは言え我が國の議論は非常にお寒いものを感じる。自衛官の処遇、有事体制の国軍創設や関係法の改正整備を真剣に討議できる政治家、世論作りがこの会が影響力を行使できる程の会員数の確保に努めたい。諸先輩の御指導の程よろしくお願い致します。

常任理事 石田 吉末  
我々国防会はその名が示す如く自衛隊を支える事を目的とした団体である。機関紙創刊に当り痛切に念じ希む事は現有会員より新規会員とか未会入の方々に読んで頂きたい。何故かと申せば今日我が國の旗を掲げ、平和を求め、国民全部とは云はないが、かなりの人々が終戦以後の平和に馴れ、平和だけを云ふのか国防意識の余りにも貧弱、自衛隊に対する認識不足、子供に対する家庭教育の間違い等々私は日本の将来に對して非常に心配しています。諸兄がどんな機関紙に発表を希む次第です。



監事 梶川 勝平

関西防衛を支える会は、昨年、高橋季義会長を核にして新しく生まれ変わりました。明確な趣旨、又、目標を掲げて前進致して居ります。  
勿論のこと組織が一体となつて目的達成に取り組んでおる現状であります。  
現在自衛隊は災害救助・国連協力(PKO)の諸々の活動を展開しその地位を確立し国防の中心的存在として自衛隊への國民の信頼と理解が深まり、現在自衛官志望者が急増して居るのも誠に大きな変化であるとおもいます。  
しかし一方政治の世界はとんと依然偏見がまかり通つているのはどうしてでしょうか。先の中央省庁改革関連法案では防衛庁だけが「庁」で「省」昇格は見送られて居る。國の平和と安全を守る役所を「一人前」に扱おうとしない政治はどこがおかしいと思つて居ります。  
廿一世紀には先ず「省」の実現に再度政治の決断を仰ぎ願ひと期待をこめて皆様方の益々の飛躍を祈念申し上げ挨拶と致します。



機関紙「國のささえ」  
発刊に際して  
相談役 中島 元

國を興し國を支える営みは、政治、経済、司法、学芸、教育ときわめて多岐にわたるが、これらを抱括してその土台と為るものは、國の安全の確保と勤王である。而して内なる治安(犯罪、事故、災害から守る)の維持と、外からの侵襲(大災害を含む)に對する防衛の確立は、まさに車の両輪であつて、しかも専守防衛を國とするわが國におけるその対応の場はすべて国内(領海を含む)であるところから、兩者の關係は一層密接不可分な

す中で、此の度、広報機関紙「國のささえ」が発刊されま

林 総合事務所  
所長 林 孝  
事務所 千早 大阪市長堂一五六一 弘家ビル五F  
電話大阪 〇六 六七八一 三三七二四  
FAX 〇六 六七八一 三三七六五

旅するミュージカル劇団  
「劇団ふるさとときやばん」という名前を聞いた事がありますか?ほとんどの方は聞いたことがないと思

「村にミュージカルがやってくる」昔どこかで聞いた映画か物語のタイトルのような、なつかしい響きをもったこの言葉が現実のものとなつたのです。霊場高野山から南西へ20km余り山の中を下り、有田川の河口から気が遠くなるほど上流へ山中をさかのぼつたところに、その地、和歌山県花園村があります。なんと人口620人なのです。  
奥高野といわれている山深い村でも、今まで大衆演劇や落語、歌謡ショーなどが、しばしば公演され、娯楽の少ない村民を喜ばせてきたそうなんです。それが、芝居や歌謡ショーではなく「ミュージカル」なのです。もちろんミュージカルが来るというのは村始まつて以

「村にミュージカルがやってくる」昔どこかで聞いた映画か物語のタイトルのような、なつかしい響きをもったこの言葉が現実のものとなつたのです。霊場高野山から南西へ20km余り山の中を下り、有田川の河口から気が遠くなるほど上流へ山中をさかのぼつたところに、その地、和歌山県花園村があります。なんと人口620人なのです。  
奥高野といわれている山深い村でも、今まで大衆演劇や落語、歌謡ショーなどが、しばしば公演され、娯楽の少ない村民を喜ばせてきたそうなんです。それが、芝居や歌謡ショーではなく「ミュージカル」なのです。もちろんミュージカルが来るというのは村始まつて以

謹賀新年  
平成十二年元旦  
役員一同





「私の潜水艦人生」 元海将 平賀 源太郎

私は今から三年前、潜水艦司令官の勤務を最後に海上自衛隊を退職いたしました。海上自衛隊に奉職した三十四年にわたる期間の大半を潜水艦とともに歩んで参りました。まもなく還暦を迎えるにあたり、我が人生を振り返って、その主な思い出が潜水艦に関わるものであることは言うまでもありません。

「きつ、汚い、危険」いわゆる三Kの代表とも言える潜水艦の生活は、今から思えば全てが楽しく、また懐かしい思い出であります。潜水艦について何も知らなかった私が、どうしてこの世界に入ったのかと申しますと、それは極めて単純な理由からであります。つまり、ある人との出会いがきっかけでした。

今からさかのぼる事四十年、私が防衛大学校の二年生に進級し、海上要員となった初めての海上実習で、呉の潜水艦基地を訪れた時のこと。あれは、われわれ学生の前で潜水艦基地の副長高橋2佐(当時)が立たれました。顔は赤銅色に日焼けし、緑青の噴いた帽子をかぶり、眼光鋭い大柄な方で、旧帝国海軍時代の自らの実戦体験に基づく潜水艦戦の話が、最後に次の言葉で締めくくられました。「今日の科学技術の進歩は目をみはるものがある。今後この進歩は限りなく続くであろう。やがて人類が月に到達する日も必ずくる。科学技術の最先端を進む軍事分野において、もしかりで、装備武器の進歩に伴い海上戦闘の形態も

必ず変化すると見るべきである。賢明なる諸君は理解できると思うが、将来の海上戦闘の主戦場は海上から海中に移ること必定である。諸君が活躍する頃は正に潜水艦の時代となるだろう。海の上に浮かぶ艦船はすべからず海の藻屑と化すであろう。」と。

見ること歴史の勇士の風格を備え自信に満ちたこの言葉は、弱冠十九歳の私には強すぎるほど強烈な言葉として脳裏に焼き付いた事は言うまでもありません。もう一つ理由がありまして、それは、潜水艦の勤務態様によるものでした。潜水艦の艦内は冷房完備で(当時では潜水艇のみ)しかも、四食四割昼寝付き(一日四回食事を取り、給食は四割は睡眠可)その上、時間外は睡眠可。その上、ひとたび潜航すればどのようには海洋が時化しようとも艦の揺れは無く、酔いも皆無、毎朝食は牛乳に本バター一ツきの食パン食べ放題。とくれば、人造米を食べていたほどの食糧難の時代にこれほどの魅力ある社会が他に有りませうか。三Kの事など全く想像すら出来なかつたのであります。この時から、自らの進路は潜水艦に決まりました。今から思えば、私はいかに細心の人間であつたかと思ふに止まりません。それ以来、副長になった喜びは、艦長になった喜びは、それ以上に重たくなりました。責任の重さに身が引き締まる重さ、度々事を思い出します。一度洋上に行けば、艦長はあらゆる事態に對し瞬時に自ら決断実行しなければなりません。正に天涯孤獨な職務なのです。それゆえ、艦長の能力は個々の能力であり、個々の能力は艦長の能力を超える事はありませぬ。それだけに、乗員の艦長に対する期待と信頼は比類の無いほどです。また、艦長の性格がこれほどまで顕著に現れるのも潜水艦

の特徴なのです。同じ作戦行動でも個々の潜水艦によってそれぞれ異なる行動態様となつて現れてきます。潜水艦を制するには、まず艦長を知れと言われ、その至言であります。私は二年半の艦長勤務において、極めて特異な数多くの貴重な体験をする事が出来ました。なかでも片路二十日間をかけて、潜航したままハワイに行き、米海軍との訓練に臨み、高い練度評価を得たこと。演習で敵の意表を突く作戦によって水上部隊をことごとく撃破し、乗員の士気を鼓舞した事。日本周回長期行動に従事し、長時間全没航行により呼吸困難な艦内環境下で忍耐力の限界に挑戦した事。入港直後艦内の配電盤から出火、適切な消火活動により乗員の死傷者を出さず無事胸を撫で下ろした事。発射した訓練魚雷に追いかかれ冷や汗をかいたこと、発射魚雷が見事に目標に命中し標的共々、海中に沈没させたこと。正体不明の水中目標に遭遇し乗員共々手に汗を握って水中衝突を回避したこと。漁船に追いかかれ、ほうほうの体で回避したこと。等々枚挙にいとまがありません。こうして艦長時代に思いを巡らせてみると、この二年半の勤務が自分の潜水艦人生において最も充実した最高の時であつたと思ひます。八十人の乗員が艦長を中心に一致団結して職務に邁進したからこそ、艦に課せられた重責を成し遂げられたものと思ひ、苦勞を共にした当時の乗員に對し今でも心から感謝しております。昭和五十六年十一月最後の航海を終えた時は、艦長の職務を大過なく全うできた満足感と安堵感で、なんと爽やかな気持ちになつた事か。ふと潜水艦の道に入ることを決意した二十年前を思い出し、よくぞ潜水艦の道を選

択したと自画自賛すると共に今日まで私を育てて頂いた諸先輩の方々、ほとんど我が家を顧みない事出来なかつた私を陰ながら支えてくれた家族に對し感謝の気持ちを一杯でした。「我が潜水艦人生に悔いなし」としみじみ実感したのもこの時であります。その後は、隊司令、艦隊司令官の職務を通じ、今までの経験と将来の期待をもとに頼もしい潜水艦乗員を育成すべく微力ながら努力してまいりました。幸なるかな、将来を託するにふさわしい青年士官や海曹士が統統と我々の後に続いて潜水艦部隊に入ってきており、潜水艦部隊の未来は頼もしい限りであります。近年、フォークランド紛争において双方の国の潜水艦がそれぞれの特色を生かし目覚ましい活躍を果たしたと書物に記載されております。更に湾岸戦争、コソボ紛争等において、潜水艦が地中海、紅海、アラビヤ海からトマホークミサイルにより対地攻撃を行ない成果を上げた事は、新しい潜水艦の運用法として注目すべき事象であります。アジアにおいても、北朝鮮の

潜水艦が韓国海軍により捕獲された事案も生起するなど北朝鮮の潜水艦の活動が活発化しております。ロシア大平洋艦隊の活動は潜水艦が主体となつております。中国はロシアからの潜水艦の導入により潜水艦の近代化に懸命な努力をしております。他のアジア諸国も潜水艦の保有に努め、保有の数の増加しているのが実状です。一方、将来の水上艦船も水中航行の構想が具体化されてきており、やがてはタンカー、貨物船にも波及するであります。潜水艦の時代は近づいてまいりました。このように原稿用紙の枠目を埋める作業は不用で、今はワープロのフロッピーに入れて渡せば整理印刷してくれるので整理印刷して「海の上に浮かぶ艦船はすべからず海の藻屑と化す」と心に言い聞かせながら、現役を退いてからというものの、往年の軍人色もやや薄らいで参りましたが、海上自衛隊の潜水艦が人知れず、海中深く、静かに、護国安寧を願いつつ、黙々と海上防衛の任務を果たしている事を、我が事のように喜び、陰ながら声援を送り続けている毎日でありま

細々と憲法改正を訴えていたが、編集者もその一人であった。これの応援団も戦前から運動家だった。当時の佐藤栄作総理と東大法学同期の木崎弁護士が主催する『民防』の事務局長の佐野正志氏。昭和八年の神保町事件に学生で参加した『新勢力』発行人の毛呂清輝氏。昭和七年の五、一五事件に海軍中尉で参加した『昭和維新の歌』作詞者の三上卓氏。詩吟の流派を横断した機関紙『吟詠新報』発行人の大井清氏。これらの明治末年から大正初期生れの先達は志し半ばで幽明境を異にされた。しかしながら鈴木満男氏の寄稿にあるように近年潮流が変つてきたようである。昨秋の西村眞悟防衛事務次官の辞任問題は「眠れる獅子」日本民族の睡眼を刺激し半眼とならしたためである。また西村議員の「強姦」発言に女性の立場から堀井教授の玉稿は嬉しい。ともあれ創刊号が無事発行出来たことは同志諸兄の御陰であり感謝申し上げます。(新)

戦後日本再考の佳書 『「帝国の知」の喪失』 鈴木満男 著

展転社発刊 定価本体2,500円 御希望の方は事務局までお申し込み下さい。著者の署名入りで頒布します。

平成12年度(第2回)総会の御案内

日時 平成12年2月13日(日)午後4時~8時 場所 新阪急ホテル(紫の間及び花の間) 総会 午後4時~4時50分(紫の間) 『演題』我々是如何に生き残るか。 講演 午後5時~5時50分 講師、能村龍太郎氏...太陽工業(株)代表取締役会長 懇親会 午後6時~8時(花の間) 会費 10,000円(当日、受付にて申し受けます) \*友人、知人をお誘い合せの上、御参加下さい

高橋季義 会長 相談役 株式会社きんぐ 勢田信行 副会長 関西防衛を支える会 黒田泰弘(敦) 同期の桜を歌う会 実行委員長 (平成十二年四月一日(土) 十四時より) 関西防衛を支える会 副会長 大阪護国神社 山下弘文 代表取締役 小味渕敦雄 代表取締役 関西電力認定 大阪府電気工事工業組合 有限会社 福助電気工事工業所